

朴一教授退任記念号に寄せて

朴一教授は2022年3月をもって定年を迎えられ、同年4月に大阪市立大学名誉教授とられました。朴教授は同志社大学大学院商学研究科博士課程を修了、博士（商学）を取得された後、大阪市立大学には1990年に着任されました。以後30年以上の長きにわたり本学経済学部・経済学研究科へ多大なるご貢献をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

ご専門は、アジア経済論、国際労働移動論、朝鮮半島地域研究で、著書『韓国 NIES 化の苦悩－経済開発と民主化のジレンマ－』をはじめ、多数の著書・論文を執筆されました。近年の著書『20世紀東アジアのポリティカルエコノミー』にアジア研究に関するこれまでの学術研究の成果をまとめておられます。論考の発表の場は専門書、学術雑誌にとどまらず、一般書、新聞や雑誌にも精力的に執筆されました。また、テレビ番組やラジオ番組にも多数出演され、絶大なる発信力を有しておられました。朴教授の学生思いのお人柄もあり、学内の授業やゼミの人気も高く、いつも受講希望者が溢れ、抽選となったり立ち見する学生がいたりしていたことを記憶しています。まさに朴教授は大阪市立大学の看板教授でいらっしゃいました。

さらに人権科目の授業「エスニックスタディ」、人権問題ハンドブックの作成、人権問題研究センター研究員、人権問題委員、人権研修の講師等を通じて、学内の人権教育・啓発の推進にも努められました。私が着任してから長らく女性教員は一人だけという時期が続きましたが、朴教授が率先して男女共同参画の雰囲気作りをして下さったお蔭で、性別により不利益を被ることは勿論、居心地が悪い思いをすることも全くなく研究教育に専念できましたこと、心より感謝しております。

本研究科の誇りであった朴教授との惜別は誠に残念な限りですが、今後ともお元気で益々ご活躍されることを祈念し、この退任記念号を捧げたいと思います。

2023年3月 吉日

大阪公立大学・大阪市立大学 大学院経済学研究科長・経済学部長
滋野 由紀子